"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

東京目黒ワイズメンズクラブ

ホームページ： http://www.asahi-net.or.jp/~uu9y-ktu/index.html
E-mail： meguro-ys@yahoogroups.jp
156-0051 世田谷区宮坂 3-23-2 東京 YMCA 南センター TEL 03-3420-5361 FAX 03-3420-5363

２０１５年 ４月号 No．584

会　長	村野　繁	ＥＭＣ	村野絢子
副会長	中田清子	Ｂ　Ｆ	山口愛二
書　記	福島　正	ブリテン	福島　正（編集）
会　計	根本幸子	ブリテン	村野　繁（印刷）
担当主事	山梨雄一	ブリテン	村野　繁（発送）

クラブ会長	**村野　繁**（東京目黒）	老いても、前に進もう
東新部部長	**太田勝人**（東京世田谷）	原点を見つめ、充実・飛躍そして楽しもう
東日本区理事	**田中博之**（東京）	誇りと喜びを持って
アジア地域会長	**岡野泰和**（大阪土佐堀）	未来を始めよう、今すぐに
国際会長	Isaac Palathinkal（インド）	言葉より行動を

４月の強調月間

ＬＴです。

ワイズメンズクラブの未来のために、クラブ、部、区での研修だけだなく、個人のスキルアップのため、自己研鑽に励むことも肝要です。

今月の聖句

神の恵みによって今日のわたしがあるのです。そして、わたしに与えられた神の恵みは無駄にならず、わたしは他のすべての使徒よりずっと多く働きました。しかし、働いたのは、実はわたしではなく、わたしと共にある神の恵なのです。

コリントの信徒への手紙Ⅰ：15 章 10 節　福島　正／選

４月　本例会

日時　４月８日（水）13 時 30 分～15 時 30 分
会場　東京ＹＭＣＡ　南センター　２階会議室
会費　300 円　ビジター・ゲスト　歓迎
4/6（月）までに福島書記 03-3371-2122 へご連絡ください

	司会	福島　正
開会点鐘	会長	村野　繁
ワイズソング		一　同
聖書朗読・ひと言・お祈り		司会者
ゲスト・ビジター紹介	会長	村野　繁
ティー・タイム		
ＹＭＣＡ報告	主事	山梨雄一
卓　話「東京ＹＭＣＡ会員部の働きを語る」		
		東京世田谷クラブ　小原武夫さん
おめでとう（誕生日・結婚記念日）		
みんなで唄おう　**♪春の小川♪**		一　同
閉会点鐘	会長	村野　繁

卓話者　小原武夫さん

東京世田谷クラブの重鎮で、活気ある世田谷クラブの牽引車として重きをなしています。南東部最後の部長として 1996 年に部会を、また、第５代東日本区理事として 2002 年に区大会をいずれも沖縄で開催。沖縄那覇クラブとＤＢＣを締結される等、沖縄支援にも情熱を常に注いでおられます。東京ＹＭＣＡでは会員部活動委員長として、会員活動の先頭にたって英知と行動力をフルに発揮されＹＭＣＡスタッフからも絶大の信頼を寄せられている大御所です。

３月例会記録

在籍会員数	7名	メン	5名	**使用済み切手**
内･功労会員数	(2 名)	メネット	１名	累計　4.585kg
メーキャップ	０名	ビジター	２名	
出　席　率	**83%**	ゲスト	１名	**プルトップ**
ＹＹ指数	**260%**	本例会出席者数	９名	累計　7.350kg

（姫路クラブ）　（目黒クラブ）

お誕生日おめでとう

１日　橋崎恵子さん　25 日　福島多恵子さん
６日　大西一也さん

結婚記念日おめでとう

15 日　神谷冨久司・恵美子さん
10 日　村野繁・絢子さん
29 日　村田榮・紀美子さん（那須）

第二（事務）例会
4/8　本例会に引き続き行います。

これからの　行　事　予　定

4/8（水）東京目黒クラブ本例会&第二例会
（南センター　２階会議室）
4/18（土）第３回東新部評議会
（在日本韓国ＹＭＣＡ）
5/13（水）東京目黒クラブ本例会&第二例会
（南センター　２階会議室）
6/6（土）～7（日）第 18 回東日本区大会
（厚木市文化会館、レンブラントホテル厚木）
6/10（水）　東京目黒クラブ本例会&第二例会
（南センター　２階会議室）

３月　本例会　報告

３月 11 日（木）13 時 30 分～14 時 50 分
南センター ２階会議室

定刻に山梨雄一さんの司会、村野会長の開会点鐘で開会、一同でワイズソング、山梨さんの聖書朗読、ひとことがあって、ティータイムに入り、山梨主事よりＹＭＣＡ報告として、2/11ＡＳＣＡクラスの体験会、2/26～27 南センターリーダーの交流会を上越国際スキーで開催したこと等報告された。

卓話者の兼田夏実リーダーの紹介を山梨さんからあって、「ユース・ボランティア・リーダーズ・フォーラムに参加して」画像をスクリーンに投影して、よく準備された資料にそって報告、以下はその概略。

2014 年９月 19 日（金）～21 日（日）の２泊３日、ＹＭＣＡ山中湖センターに北海道から横浜まで 28 名のリーダー、５名のカウンセラー、３名のスタッフが集まって開催された。東日本のＹＭＣＡリーダーの研修・交流を目的に 1987 年に始まり、27 回を数える今年は「今、ユースボランティアリーダーに求められるもの」の基調講演は、リーダーＯＢの篠田秀樹さん（東京江東）から、①メンバーとして、②預ける保護者として、③同じリーダーとして、④ワイズとして、この４っの目線から見た話があり、グループにわかれて研鑽を重ねた。１日目、東京駅に集合して貸切バスで山中湖に向かう車中からプログラムが始まり、グループ分け、フォーラムの目的、食事当番などのオリエンテーションと、各地のＹＭＣＡの活動報告、各地のお土産の紹介など話は弾んだ。

兼田リーダーは纏めとして、

① メンバーからリーダーは頼れる存在であって欲しい。話易い、笑顔、元気、ユーモア、魅力が求められている。
② 保護者からは子供の安全、成長、想い出、楽しさ、普段の生活で経験出来ない体験、一所懸命さ。
③ リーダー仲間からも安全、危機管理、計画性、積極性、言葉遣い、リーダーとしての成長。
④ ワイズからチームワーク、伝えること、信頼、生活習慣を含めた成長が求められている。

同じ年代のリーダーに会って悩みを話あい、みんな同じだなと安心したり、同じ年代ということもあって緊張しないで、自分の思うことが伝えられた。新しいゲームなども教わり、参加させてもらってよかったフォーラムでした。

例会の最中　１４時４６分

東日本大災害から４年
ー同黙祷を捧げました

例会の最後は山梨さんが選んだ「春よこい」を元気よく歌って閉会点鐘となった。

出席者は【メン】根本、福島、村野繁、村野絢子、山梨雄一、【メネット】福島、【ビジター】村田榮、村田紀美子（那須）、【ゲスト】兼田夏実、計９名、出席率 83%。ＹＹ指数 180%、欠席は中田、山口（功労会員）。

3/11　東京目黒クラブ本例会　集合写真

３月　第二例会　報告

３月 11 日（水）15:00～15:15
南センター　２階会議室

報告

1）3/14 那須クラブ 20 周年には村野繁、村野絢子、福島正、福島多恵子が出席の予定。
2）那須と東京目黒の DBC（同区内ではあるが）を３月 14 日那須クラブ 20 周年例会で締結する。
3）14 日 20 周年例会後、那須しらかば荘で１泊して姫路・那須・東京目黒の交流会を持つ。
4）教会会員に入会を呼び掛ける手段として継続して FACEBOOK の活用を考えている。

事務会

1）来年度ロースターの校正と、注文数の確認
2）東日本区（厚木）大会と、アジア地域（京都）大会への参加の奨め

卓話者予定

4/8　小原武夫さん（世田谷クラブ・東京ＹＭＣＡ会員部運営委員長）
5/13　（※評価を兼ねてクラブシンキング）
6/10　鈴木田通夫さん（東京山手クラブ）
7/8　磯部成文さん（東京北クラブ）

出席者は村野繁、村野絢子、福島正、福島多恵子、計４名

那須クラブとＤＢＣ締結式

JAPAN EAST　JAPAN EAST

国内ブラザークラブ締結証

われわれは国内ブラザークラブ締結にあたり、相互の会員の交流と親睦を図るとともに、

「強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う」

という国際標語の目的に対して、最大限の努力をすることを誓い、この締結がより価値のあるものとなるよう、緊密な関係を樹立するものである。

ここに相互クラブ会員の友好と繁栄が永長く続くことを願って、両クラブ会長並びに区理事の署名をもってこの証とする。

2015年 3月 14日

クラブ名 東京目黒ワイズメンズクラブ　クラブ名 那須ワイズメンズクラブ

会長 村野繁　会長 田村修也

東日本区理事 田中博之

３月１４日（土）１５時から、第３部の最初に、ＤＢＣ締結式がくまれ、田中理事と大久保北東部部長の立会、利根川国際・交流事業主任の司会で進められた。田村会長（那須）、村野会長（東京目黒）と田中東日本区理事が署名した後、**「相互の会員の交流と親睦を図るとともに最大限の努力をすることを誓い、この締結が価値あるものとなるよう関係を樹立するように」と**奨めが田中理事よりあった。

那須クラブ 20 周年感謝例会

晴天に恵まれた３月 14 日（土）アジア学院チャペルと、コイノニアハウスを会場として 13 時 30 分より 13 クラブ 66 名が参集して開催された。
ＪＲ新幹線で来る参加者のため、アジア学院のマイクロバスが那須塩原駅に出迎えてくださり、ユースリーダーを巻き込み、アジア学院の協力を得て、よく準備された 20 周年感謝例会でした。第１部の記念礼拝に続いて、アジア学院理事長・校長の大津健一先生による「アアジア学院の目指すもの　～共に生きるために～」記念講演をうかがった。第３部はコイノニアハウスに会場を移して茶話会が河野順子副会長の河野順子さんの巧みな司会で始まった。冒頭に那須クラブと東京目黒のＤＢＣ締結式（後述）があって、アルコール抜きの素晴らしいパーティが繰り広げられた。

村野絢子さんが自宅で 60 人分のシフォンケーキを作って大容量の入れ物を抱えてきて下さり、アジア学院や、那須クラブのメネットで用意された赤飯、漬物、焼き豚、チャイティなどに花を添えて、ホストの那須クラブは勿論、参加者全員から喜ばれました。感謝例会の最後を飾る「ＹＭＣＡの歌」を全員で斉唱した時の田村修也会長の力強いピアノ伴奏と、閉会挨拶は心に深く刻まれ感動した閉会だった。

大津健一先生の記念講演

第１・２部会場のアジア学院（日本式）木造チャペル

村野絢子さんが自宅で焼いたシフォンケーキを会場で盛り付ける

出席最年長の挨拶する福島

第３部パーティ会場・アジア学院

姫路/那須/東京目黒
３クラブ交流の集い

３月 14 日(土)那須クラブ 20 周年記念会を終えて村田紀美子さんの車で１時間かけて那須しらかば荘に到着、18 時からの晩餐会には原田時近さん・明子さん夫妻と荒井浩元主事も参加。その後、宿泊した田村修也さん、河野順子さん、村田榮さん・紀美子さん夫妻（那須）と、山本和生さん・聡子さん夫妻（姫路）に、村野繁さん・絢子さん夫妻、福島正・多恵子夫妻は 20 時 30 分から 22 時まで懇談の時をもって交流の集いと、温泉を存分に楽しんだ。翌 15 日は、村田さん夫妻が運転する２台の車で、温泉神社→殺生石→白銀の大丸温泉→北温泉→ＭＡＮＩＷＡ牧場をドライブ→広い畠に囲まれた村田さん宅で記念撮影して、13 時 02 分那須塩原駅に別れを告げて帰途についた。

しらかば荘玄関で

村田榮さん・紀美子さん宅の庭先で

Stop　ＨＩＶ/ＡＩＤＳ　columu

10 代の若者に焦点　All In

世界の大きな流れとして、エイズ関連の死者数はほぼすべての年齢層で大きく減少していく傾向にあるのに、10 代（10～19 歳）だけは例外で、減っていない。国連合同エイズ計画（UNAIDS）、国連児童基金（UNICEF）が関係国際機関や若者グループと協力して開始した HIV 予防の若者向けキャンペーン『All In』はこう指摘しています。UNAIDS の推計によると、2013 年にエイズで死亡した 10 代の若者は世界全体で 12 万人でした。平均すると毎日 300 人以上が亡くなっていることになります。これは若者の死亡原因

としては交通事故に次いで２番目に多く、アフリカでは死因のトップを占めているということです。
All　In は「皆で取り掛かろう」の意味です。（村野　繁）

☆にこにこメッセージ☆

村野絢子ワイズ
　那須クラブ 20 周年記念例会に出席した。目黒の例会に毎月この距離を車で走らせてご出席下さっている村田ご夫妻が会場のアジア学院で迎えて下さった。発展途上国の多くの国々から選ばれた青年たちが、自国の農業指導者としてのキャリアアップを目指して９カ月間研修する大切な場所であるアジア学院を那須クラブはずっと支援している。その那須クラブとブラザークラブとなった私達目黒クラブも支援の仲間に加わりたいと強く思った。

村野　繁ワイズ
　クラッシュの YVLF 参加報告を聞いて楽しい時間と自分発見のできたことがとてもうれしかったです。フォーラムをワイズメンが支援していることを誇りに思いました。那須クラブの２０周年記念例会に参加して、当クラブがアジア学院と国際医療福祉大学をサポートしている結果が学生ボランテァの活躍の姿を見て、これが目黒クラブにないところだと感じました。目黒に合った CS を探そうと強く思いました。

福島　正ワイズ
　3月例会で兼田夏実リーダーが報告してくれたユースボランティアリーダーズフォーラムの基調講演者は根本幸子さんの甥に当る篠田秀樹さん（東京江東）であり、第1回を企画した3部合同部会のひとつ南東部部長として福島が1988年参画したご縁を感じました。27回を重ねる長寿に関係者のたゆまぬ努力に敬意を表しています。2015年度は南センターがその事務局を担当すると聞いて尚更その感を深めています。

ＹＭＣＡニュース

（山梨雄一）

　３月８日（日）南センターでは、東日本震災復興支援募金、及び国際協力募金の一環として、小田急線経堂駅、東急東横線田園調布駅にてそれぞれ街頭募金活動を実施した。23,504 円の献金が募られた。寒空の中、参加をしてくれた幼児の子ども達の大きな声で呼び掛ける姿はとても印象的であった。今後も継続的に募金活動を行っていきたい。
　３月 12 日（木）から 15 日（日）にかけて今春のスキーキャンプに向けてのボランティアリーダー実技トレーニングが東京ＹＭＣＡ妙高高原ロッジ（赤倉観光スキー場）にて行われた。総勢 71 名の若きリーダーとスタッフ・OBOG14 名のインストラクターにより、スキー技術の向上とキャンプリーダーとしての資質の向上、また雪上での安全管理についての良き学びの場となった。
　３月 19 日（木）、20 日（金）の２日間、二子玉川エリアの幼児を対象とした春休みのディキャンプを実施した。年少、年中合わせて 17 名の子ども達が参加をし、大きなリュックを背負って、自然豊かな環境下での冒険は、子ども達の目を輝かせ、活動的な２日間を過ごすことが出来た。

＜南センタースケジュール＞
４月６日（月）　南センター語学クラス開始
４月９日（木）　第 25 回チャリティーゴルフ大会
４月 11 日（土）ASCA クラス開始
４月 12 日（日）定例野外活動あおぞら例会日
４月 19 日（日）定例野外活動おひさま例会日
４月 26 日（日）定例野外活動冒険くらぶ例会日

<南センター開館時間の変更>*4/1 より変更
月曜日・金曜日：10 時 00 分~15 時 00 分
火曜日～木曜日：10 時 00 分~18 時 00 分
土日祝祭日　　：休館日

<南センターGW 特別休館日>
４月 27 日（月）、28 日（火）、30 日（木）、
５月１日（金）

Alf Reynolds Award が国際より贈られてきました
BF の一人あたりのファンドが５，１０，２５，５０，１００ユーロでレベル１から５のパッチがおくられます。東京目黒クラブは min10 ドルとはレベル２です。

４月　の　うた

今月は、姫路クラブの大西一也さんの選曲です。

「春の小川」作詞高野辰之　作曲岡野貞一文部省唱歌（四年）

春の小川は、さらさら行くよ。
岸のすみれや、れんげの花に、
すがたやさしく、色うつくしく、
咲けよ咲けよと、ささやきながら。

春の小川は、さらさら行くよ。
えびやめだかや、こぶなのむれに、
今日も一日、ひなたでおよぎ、
遊べ遊べと、ささやきながら。

訃　報

坂本松男さん（大阪土佐堀）
３月 22 日召天されました。第 26 代日本区理事を務められました。2001/9～2005/12 東京目黒クラブに在籍された坂本哲朗さん・千春さん夫妻（大阪センテニアル）の父上です。謹んで哀悼の意を表します。

あとがき

　退院後は歩行器(シルバーカー)利用ながら、思い切って那須への遠出を試みました。ＪＲ各駅ではエレベータを探し歩き、エスカレーターにも挑戦。東京駅で姫路の山本さん夫妻に偶然出会い、道中も宿泊した宿(車椅子移動)でもたいそうお世話になりました。ワイズ仲間の温かさに囲まれ、幸いな時間と旅を存分に楽しむことができ感謝でした。　（福島）